

平成23年9月30日

J R 北 海 道



## 「幌内鉄道スタンプラリー」を実施します!!

北海道初の鉄道である「幌内鉄道」は、明治15（1882）年11月13日の幌内～手宮間全線開通から来年で130周年を迎えます。JR北海道では、130周年記念のプレ企画として、「幌内鉄道」の駅を訪ねる「幌内鉄道スタンプラリー」を実施します。

また同時企画として、10月8日（土）に小樽運河プラザ三番庫にて、北海道大学観光学高等研究センターとの共同企画で「第12回観光創造フォーラム」を開催します。

### 1. 実施期間

平成23年10月1日（土）～31日（月）

### 2. 概要

下記のスタンプ設置箇所に設けられたスタンプを5つ以上集めると、参加特典としてオリジナルクリアファイルをプレゼント。

ラリーのスタートはどこからでもOKですが、ゴールは小樽市総合博物館です。オリジナルクリアファイルも小樽市総合博物館内のミュージアムショップ「ポップー」でお渡しいたします。

### 3. スタンプ設置箇所

- ①三笠鉄道記念館（旧：幌内駅） ②クロフォード公園（旧：幌内太駅） ③岩見沢駅 ④幌向駅（旧：幌向太駅）
- ⑤江別駅 ⑥野幌駅 ⑦札幌駅 ⑧琴似駅 ⑨手稲駅（旧：軽川駅） ⑩銭函駅 ⑪南小樽駅（旧：住吉駅）
- ⑫小樽市総合博物館（旧：手宮駅）

#### 幌内鉄道とは・・・

クロフォードを技師長に任命した開拓使は、明治13(1880)年11月28日、北海道初の鉄道である手宮～札幌間の鉄道営業を開始しました。幌内炭鉱の石炭を手宮港に運ぶために建設されたので「幌内鉄道」と称されましたが、幌内から手宮までが全線開通するのは、その2年後の明治15(1882)年11月13日でした。全線開通時のルートは、手宮(現:小樽市総合博物館)を起点に、住吉(現:南小樽駅)、朝里、銭函、軽川(現:手稲)、琴似を経て札幌に達し、さらに野幌、江別、幌向太(現:幌向)、岩見沢、幌内太(現:クロフォード公園)を経て炭山近くの幌内(現:三笠鉄道記念館)へと達する線路でした。

#### ～同時企画～

JR北海道×北海道大学観光学高等研究センター共同企画

#### 第12回観光創造フォーラム「鉄道の魅力とその多様性を探る」

- 1. 日時：平成23年10月8日（土）13：00～15：00
- 2. 場所：小樽運河プラザ三番庫（定員100人程度）〒047-0031 小樽市色内2-1-20 小樽駅下車徒歩8分

#### 【お問い合わせ先】

「第12回観光創造フォーラム」については、下記にお問い合わせください。事前のお申込は必要ありません。

北海道大学 観光学高等研究センター  
TEL：011-706-5382